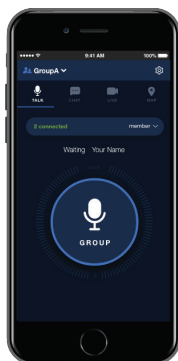


IP無線を導入して良かったこと

“場所を選ばない一斉通話で 業務がスムーズに

警備

保安



空港のどこにいても、電波の良し悪しを気にせず一斉通話ができることが大きな強みです。

何か事案があった場合でも、担当者が上司へ報告するだけで、同時に社内全体に共有されるので、上層部が1:1で指示を降ろさなくて良いのがメリットです。

また、Aldioは喋った内容が音声で残り、ボイスレコーダーとしても活用できますので、これまで所持していたボイスレコーダーとも兼ねることができ、所持品を減らすことができました。使い方もシンプルですので、簡単に使い始めることができました。



スマホ IP 無線 Aldio





導入前の課題

今までは、警備スタッフには専用無線機などは貸与しておらず、特定のメンバーのみ社用携帯電話を利用していました。また、警備箇所に一台ずつ携帯電話が配置されていたのですが、警備スタッフが移動すると連絡がつかなくなってしまったり、一対一のコミュニケーションだと周りに状況が伝わらなかったり、情報共有が効率的ではありませんでした。

導入した理由

社用携帯電話をなくし、スマートフォンでコミュニケーションツールを一本化、各勤務(シフト)ごとにスマートフォンを一台ずつ配備し、荷物検査ライン・警備スタッフ・事務所での情報共有を密にしようという流れになりました。そんな中、Aldio導入を検討している他社様から、スマートフォンを導入すれば、IP無線機としても利用できるという情報を聞き、導入に至りました。



手荷物検査や事案発生時に利用、助かっています。

基本的に全員が参加しているAllグループで情報共有を行っており、出発便の遅れの共有や、混雑状況を見ながら荷物検査レーンを移動させ調整したり、終業時に事務所へ報告をしたりしています。

最終便は航空会社によってバラバラで、その日最後の便が遅れますと、インライン(荷物を預ける所)、ハイジャック(手荷物検査)、ラウンジ検査の3箇所の調整をしなくてはなりません。

例えば「北は遅延しているので延長してください、南はもう閉めて結構です」などといったことを一括で情報共有できるAldioが役立っております。

また、特殊物件という、手荷物検査で一般では出ないような特殊なものが出た時、Aldioで情報と状況を全体共有をしましたところ、上層部はちょうど会議中だったのですが、担当者が即座に現場へ向かい、対応することができました。



使い勝手をよくするには

有線イヤホンマイクからbluetooth型マイクにしたり、押しながら話せるPTT対応マイクにするなど、周辺機器を上位機種にすることを再検討したいと考えております。



導入検討中の方へメッセージ

電波の善し悪しに関係なくグループ通話ができるので、大きなフィールド(現場)であればあるほど、使い勝手が良くなるのではと思います。



株式会社シアンス・アール

WEB: www.science-arts.com
Service: www.aldio.net
お問い合わせ: info@science-arts.com

